



ふれあい

編集発行

社会福祉法人 京極町社会福祉協議会
〒044-0121北海道虻田郡京極町字三崎68番地
TEL(0136)42-3681 FAX(0136)41-2031
Eメールアドレス
kyogoku-fukushi@blue.ocn.ne.jp
ホームページアドレス
http://www.shakyo.or.jp/hp/63/

この広報は赤い羽根共同募金の助成金で印刷されています。

2016 ふれあい広場を開催

地域福祉拠点へのご来場ありがとうございました

8月14日(日)天候に恵まれて「第24回ふれあい広場」を開催いたしました。

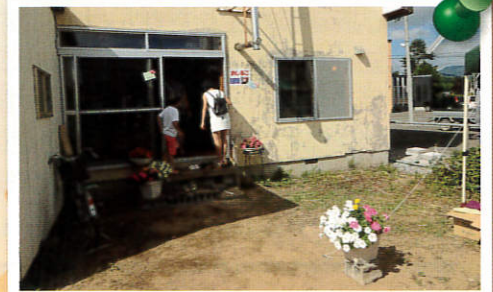
今年、社協が購入した「地域福祉拠点予定地」の周辺に会場を移して、例年とは違った企画で開催しました。

「みんなの声募集」では、拠点がどんな場所になってほしいか、住民の方から多くのご意見をお寄せいただきました。80件に及ぶ「みんなの声」は、これからの拠点づくりに活かしていきます。

その他、リサイクルバザーや福祉施設製品販売など、多くの団体やボランティアの参加・協力により実施しました。



関係団体のほか、
多くのボランティアさんの
協力をいただきました。



京極町女性団体連絡協議会、京極町身体障害者福祉協会、
京極町民生委員児童委員協議会、京極町母子寡婦会、福祉委員、
京極製氷株式会社、NPO法人MiMaTa夢の匠

京極町生活サポートセンター

成年後見制度って なあに？

成年後見制度は知的障害者・精神障害者・認知症の高齢者など、判断能力が十分でなく、自分自身の権利を守ることができない成人の財産管理などを支援する制度です。

成年後見人は どんな人？

家庭裁判所から選ばれた成年後見人は本人の財産を管理したり、契約などの法律行為を本人に代わって行います。成年後見人として、市民後見人、親族後見人、法人後見人、専門職後見人（弁護士・司法書士等）の中から選任されます。

成年後見人としてのお仕事（1か月間）を紹介します

高齢者施設に入所中のAさんの成年後見人の場合

◆本人との面会

入所施設にて、ご本人と面会し、体調の確認を行います。施設職員と本人の今後の生活について相談します。施設職員と電話にてご本人に関する報告・連絡・相談をすることもあります。訪問は月1回程度定期的に行います。必要に応じて数回訪問することもあります。

◆施設利用料の支払い

Aさんの施設利用料は通帳からの自動引き落としのため通帳の記帳をして確認します。毎月、施設から送られてくる請求書・領収書を保管します。

◆高齢者臨時福祉給付金の申請・入金の確認

臨時福祉給付金申請書を記入し、役場へ提出します。給付金支給決定書を保管し、入金を確認します。

◆介護保険高額介護サービス費の確認

通帳を記帳し入金の確認を行います。毎月、施設から送られてくる支給決定通知書を保管します。

◆サービス提供に関する計画書（ケアプラン）の説明・同意について

担当ケアマネージャーからケアプランの説明を受けます。内容を確認しケアプランにサインを行い、承認します。ケアプランを1部いただき保管します。

成年後見人は、お金を管理する仕事と思われがちですが、成年後見人はご本人の思いや希望に寄りそい適切にお金を預かったり、契約をお手伝いする、いわゆるご本人の伴走者といえます。



京極町生活サポートセンターでは、成年後見制度に関する相談の受け付け、市民後見人の養成を行っています。詳しい内容についてお気軽にお問合せください。

TEL 42-3681 駒田 藤原(実)



第16回 ほかほかまつり

とき／10月23日(日)10時～15時
場所／福祉センター

テーマ 「人をやさしくする病気—認知症をもっと知ろう」

認知症の人は不思議な力を持っています。その一つは自分に愛情を持って接する人とただなんとなく接する人を瞬時に区別できることです。認知症の人と良いつながりを持つには、やさしくあたたかく接することが何よりたいせつです。つまり、認知症の人には他の人をやさしくする力があるということです。認知症になっても人間対人間のお付き合いができるように、この機会に皆で認知症の勉強をしましょう。



共楽クラブが活躍中です!



6月21日(火)、8月9日(火)の2回に渡り、社会奉仕の一環として「京極発祥の地」の草刈りを実施しました。1回目は29名、2回目は25名の会員さんと三崎町内会の方々にもご協力頂きました。ブラシカッターなどで隅々まで整備して頂きました。

また、7月5日(火)には福祉センターの花壇整備も行って頂きました。

こちらはなんと「最優秀賞」でした。共楽クラブはこれ以外にも毎年多様な活動を行っております。クラブの活動にご興味のある方はぜひご連絡ください。



共楽クラブ会員募集中!

町内在住の60歳以上の方であればどなたでもOK。まずはご連絡ください。

寄付・寄贈に感謝いたします。 ◆期間/6月~8月

寄贈

池田 進様 佐々木 英雄様

寄付

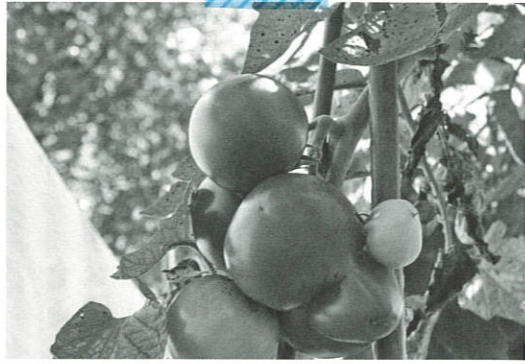
- 遠藤 ミン子様より、
夫の故遠藤 文男様の生前のお礼として
- 田中 英子様より、
夫の故田中 武様の生前のお礼として
- 奥野 きみよ様より、
夫の故奥野 幸雄様の生前のお礼として
- 佐々木 英雄様より、
母の故佐々木 歌子様の生前のお礼として
- 駒場 重剛様より、
妻の故駒場 弓子様の生前のお礼として
- 盛多 宗幸様より、
妻の故盛多 道子様の生前のお礼として
- 白坂 かをり様より、
夫の故白坂 義一様の生前のお礼として

- 京極町信友会・京極町商工会青年部合同ピアガーデン様より、京極町の福祉の為に
- 唯木 純一様より、
母の故唯木 キヨノ様の生前のお礼として
- 阿部 尚泰様より、
京極町の福祉の為に
- 京極町女性の会 会長 岡部 美智子様より、
京極町の福祉の為に
- 京極町商工会青年部 部長 渡邊 慎太郎様より、
京極町の福祉の為に
- 京極町商工会女性部 部長 坪内 百合子様より、
京極町の福祉の為に

デイサービスだより

明るい農村

例年取り組んできた「明るい農村」ですが、今年度も町民の皆さまや利用者の皆さまのご協力により順調に作物が育ちました。収穫した野菜は利用者の皆さまへ還元し、喜びの声をたくさんいただきました。



敬老会

敬老会が9月6日(火)に開催され、今年度もデイサービスから多くの利用者様が参加されました。

例年、デイサービスでは展示物を作成し会場へ展示してきましたが、今回は「長寿の木」と題し利用者皆さまの手形を葉に見立てた木を作成しました。色とりどりで鮮やかな作品に仕上がっています。完成した作品は敬老会の会場へ展示しました。



京極町地域包括支援センター

ふれあい広場で『体力測定・健康チェック』

8月14日に開催されたふるさとまつりで、ふれあい広場の福祉コーナーとして『体力測定・健康チェック』を行いました。

今年は午後からの開催でしたが、未就学のお子さんから80歳以上の方まで幅広い年代の計157名の方に参加して頂きました。



血圧、健康相談



長座位体前屈

実施内容

■健康チェックコーナー

- 血圧測定 ○健康相談
- 基本チェックリスト
- 身長 ○体重 ○BMI

■体力測定コーナー

- 握力 ○長座位体前屈
- 片足立ち1分チャレンジ (65歳以上)
- 立ち幅跳び (65歳未満)



平均値等の掲示



片足立ち1分チャレンジ

参加者の皆さんは健康チェックや体力測定を行った後、平均値や年代別評価などの掲示と、ご自身の測定結果を見比べながら、現在の体力や健康状態について確認されていました。

普段は測定する機会があまりありませんので、今回の結果を参考に生活習慣の見直しや、生活の中に運動を取り入れるなど、年代問わず健康づくりに取り組んで頂ければと思います。

京極町介護予防センター

介護予防センターでは、町民の皆様が、介護が必要にならない体を作り、元気で過ごして頂けるよう、色々な会を開催しています。
今月は脳力アップ教室の紹介をしていきたいと思ひます。



今月のスポットライト

脳力アップ教室

内 容

有酸素運動（踏み台昇降・歩行など）
健康行動講座
脳賦活運動（しりとりや計算など頭を使いながらの運動）

対象となる方

- 65歳以上でスクリーニングテストの MCI（軽度認知障害）に該当する方
- 15分程度の歩行が問題なくできる方

日 程 金曜日 13:20～14:50

場 所 福祉センター

送 迎 必要な方は送迎いたします

持ち物 動きやすい服装・運動靴・飲料水・汗ふきタオル・歩数計

参加費 1回につき、送迎有 300円／送迎無 250円
月1回150円加算



踏み台昇降



屋外歩行

今年度2回目の教室は10月から2月の5ヶ月間（全20回）開催します。



ラダー



健康行動講座

お問い合わせは … 介護予防センター（代表 ☎0136-42-3681）

居宅介護支援事業所 と 訪問介護事業所

居宅介護支援事業所の居宅サービス計画に基づき、訪問介護事業所がサービスを実施している利用者さんの生活状況をご紹介します。

利用者さん紹介
80歳代 女性
(独居生活・要介護1)

転倒による骨折で入院・リハビリを実施し自宅へと退院しています。町外にご家族在住で、勤務の関係上不定期ながらの来訪あり、日常生活のサポートを行っています。自歯が数本のみで食事を摂っており、おかゆ等のやさらかメニューが中心になっています。

居宅サービス計画書より本人の目標やサービス内容

本人の目標	自宅で生活がしたいため、病院でリハビリをがんばった。これからも食事の準備を手伝ってほしい。		
サービス内容	訪問介護	生活援助(調理、ゴミ捨て、買物代行)	週3回
		通院付添い	月1回
	配食サービス	週2回	緊急通報システム

訪問介護サービス目標・計画とサービス内容

いつまでも自宅で生活が送れるよう、転倒しない生活、栄養バランスのとれた食事を提供するなどの介護サービスをおこなっています。

生活援助は週3回45分間のなかで体調確認、服薬の確認などをおこなったうえで調理を開始します。曜日によって味付けを変えるなどの工夫をしています。ごみ出しの代行、窓の開け閉めなど衛生管理のお手伝いもしています。

病院は定期受診でひまわりクリニックと倶知安厚生病院に付き添います。

かならず運転手とヘルパーの2人に対応し、安全第一でおこなっています。

受診時は医師とのやり取りにも加わり、本人の希望が伝わるようお手伝いをしています。

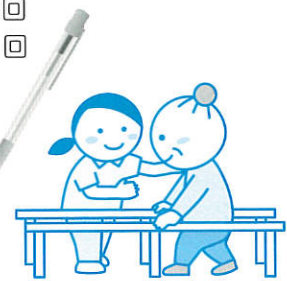
受診結果は直ちに他のヘルパー、ケアマネージャーと情報を共有しています。

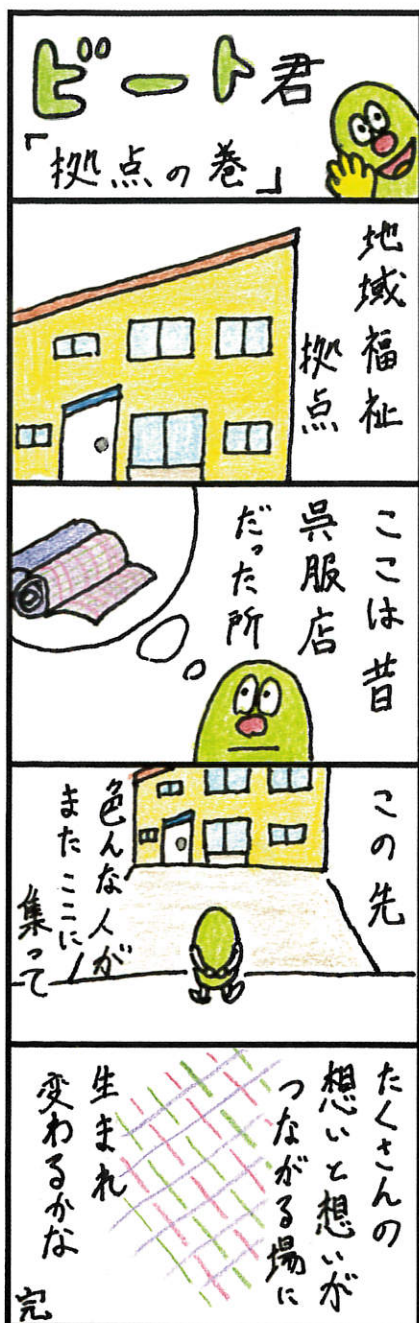
サービスを受けているご本人へインタビュー

自分では、すこしの茶碗洗いはできますが、ヘルパーさんが来てくれて食事を作ってくれてありがたいです。ありがたいの一言ですね。作ってくれた食事は電子レンジで温めて自分で食べる事ができます。(配食)弁当も味付けを好みにしてもらって食べやすいですとご本人が笑顔で話してくれました。



ご本人、ご家族と今後どこでどのように生活したいかを相談させていただき、居宅サービス計画→訪問介護計画書が完成し、訪問介護等の関係職種が集まり、具体的なサービス内容の確認、了承をいただいたのちサービス実施となります。ケアマネージャーと訪問介護職員は情報を共有し連携を取り、お一人おひとりに添った内容のサービスが行えるように対応させていただいています。





共同募金へご協力をお願いします

今年も赤い羽根募金、歳末たすけあい募金が始まります。京極町では、町民みなさんのご協力のおかげで毎年目標額に達することができています。寄せられた募金総額の、約8割が京極町の福祉のために使われ、残りが北海道広域の福祉事業のために使われます。



赤い羽根共同募金
 【期間】10月1日～12月31日
目標額：1,030,000円

（募金の使われ方）※昨年度
 広報ふれあい発行、小学校ボランティア活動助成金、高齢者緊急通報システム設置助成金、共楽クラブ・湧水塾・母子寡婦会・身体障害者福祉協会の団体活動の助成金など。

歳末たすけあい募金
 【期間】12月1日～12月31日
目標額：1,250,000円

（募金の使われ方）※昨年度
 一人暮らし高齢者や重い障がいを持つ方などへ歳末支援金の配付、福祉施設でのクリスマス会開催、除雪ボランティアイベントの開催など。

赤い羽根募金 京極町限定募金バッジ

京極町マスコットキャラクター

ゆうくん すいちゃん

1コ500円（寄付金額300円）

今年も募金バッジは、ゆうくん すいちゃんが新デザインで登場！数量限定、京極町限定で実施します。寄せられた寄付金は主に京極町内の福祉活動につかわれます。

赤い羽根共同募金は、京極町の地域福祉活動の貴重な財源です。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



福祉センター窓口で取り扱っていますので、お早めどうぞ。